

CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2012年4月20日発行 編集・発行：中央教育研究所(株) 〒732-0811 広島市南区段原2-15-5 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp/>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.2 ＜校門配布＞

今回は「自塾の認知度を高めるツール」として、効果的な「ポスティング」のやり方についてご説明いたしました。今回は認知度を高めるための第2弾として「校門配布」を取り上げます。

校門配布の最大のメリットは何と言っても、直接ターゲットに働きかけることができるという点です。目の前のほとんどが見込み客だなんて、そんな状況は他の業種ではなかなか有り得ないことだと思います。

ただ、そうは言っても、どうすればより効果的にできるのかと頭をひねる方も多いと思います。例えば、配布する時間帯はどうすればいいのでしょうか。

下校時では、部活動の終了時間がそれぞれ異なるため、生徒がバラバラに帰ることになり、チラシを捌きづらい状況にあります。また、塾としても中学生の帰宅時は小学生の授業時間帯と重なることが多いため、配布が不可能な場合も多いでしょう。

そこで、おススメしたいのが定期テスト時です。定期テスト中は部活動は基本的に行われません。ですから、テストが終わったら生徒は一斉に下校を開始します。このタイミングを逃さずに校門配布を行うのです。

その日のテストの感触が悪ければ、問合せに繋がる可能性も高まります。また、翌日以降の定期テストに関する有益な情報（出題傾向や暗記の語呂合わせ、過去問題の一部など）をチラシに掲載すれば、チラシをもらってくれる確率は格段に高まります。

また、多少のコストはかかりますが、オマケをつけるのも一つの方法です。チラシを捨てられないようにボールペンや消しゴムを同封するのはよくありますが、小学生対象の場合は飴玉や一口チョコレートのようなお菓子でも充分効力を発揮します。

また、夏にチラシの代わりに塾名入りの団扇を配布して問合せを得た塾もあります。これも塾の名前を知ってもらうという点で有効だと思います。

次に校門前配布を朝に行う際の留意点です。

生徒の登校時に行うこととなりますので、学校の敷地内や教

室内にチラシが捨てられることが多くなります。そうなれば当然貴塾に対する学校側の心象は悪くなってしまいます。

そこで、校門前配布後は必ず清掃を行なって下さい。学校周辺や校庭（入る場合は許可をもらって下さい）に落ちているチラシはもちろん、それ以外のゴミなども拾い、学校周辺を校門配布に来たときよりもきれいにしておくことが重要です。

このように、学校や地域の方々に良い印象を持ってもらえるよう、配布後にも一汗かいて下さい。

また、「おはようございます。〇〇塾です。中に素敵な特典が入っていますので、このチラシは家に帰ってから見てください！宜しくお願いします！」というように家に持ち帰るような呼びかけを行なうことも非常に大切です。

最後になりますが、おそらく校門配布に抵抗を持つ先生は少なくないと思います。「恥ずかしい」などの気持ちはよく分かります。しかし、生徒獲得競争において「恥ずかしい」なんて言っていられないほど厳しいのがこの業界の現状です。

新聞の折込チラシはターゲットではない不特定多数の人にも配布されます。しかし、繰り返しますが、校門配布はそのほとんどがターゲットに合致した顧客です。その割合は折込チラシの比ではありません。

是非、臆せずに積極的に地域の校門配布に出向いて下さい！

【あとがき】

先日、弊社の全国セミナー「個別指導塾原点復帰セミナー」の第1回打ち合わせを行いました。初回のテーマは「集客しただけじゃチラシにこだわれない！」（東京5/27・大阪6/3）です。

弊社が作成した春のチラシは各塾でかなりの反響があったのですが、その秘密について公開し、「夏のチラシ」のポイントもお伝えしようと思っています。

実は、打ち合わせを進める中で、「そこまで公開して大丈夫ですか？」という声があつても、A君から上がったのですが、「また新しいことを考えればいいんじゃない？」ってことで、包み隠さずお伝えします。

というか、私のセミナーを一度でもお聴きになったことのある方はご存知だと思いますが、隠し事が苦手なんですよね・・・。

というわけで、是非、ご期待下さい！セミナーのご案内資料をお送りしますので、是非、お問合せを。

電話 045-651-6922、mailadm@management-brain.co.jp

4月、桜前線が北上しています。ところで、「サクラ」の語源をご存知でしょうか。「サ」は「サーミダレ」「サーオトメ」と同じく、神様を表す接頭辞です。「クラ」は「タカークラ」「イワークラ」と同じ、高貴な方の座る場所を意味します。つまり、「サクラ」とは「神様のいるところ」という意味です。今でこそ「花見」と言えば庶民の宴会風景を思い浮かべますが、古代は田植えの時期を神様に聞くための神聖な儀式だったようです。

先日、某塾の保護者会に招かれ、受験生の保護者（一部生徒含）90名を対象とした講演をしてきました。高校受験をスタートさせる決起集会のようなイベントです。

高校受験は、多くの子供たちにとって人生で初めて迎える岐路です。今後、何度も訪れるであろう三叉路の最初です。是非、全力で取り組み、悔いのない1年を過ごしてほしいものです。それを伝えるために、講演の中で有名な逸話（例え話）を紹介しました。「兵士の恋」と私が勝手に名付けている話です。

ある国の兵士が王女様に恋をしました。もちろん、身分違いの恋です。しかし、どうしても諦めきれない兵士は、意を決してラブレターを書きます。すると、思いがけず王女様から返事が来ました。その手紙には次のように書かれていました。

「これから1年間、一日も欠かさずに私の部屋の窓の下に立ってくれたら、あなたと結婚してもいい」

狂喜乱舞した兵士は、その日から雨の日も風の日も雪の日も…王女様の部屋の窓の下に立ち続けました。そして、いよいよ明日が最後の日という前夜、兵士の心に、ある疑念と不安が押し寄せてきます。

「本当に王女様は約束を守ってくれるだろうか。そんな約束など忘れてしまっているかもしれない。それどころか、冗談を真に受けて1年間立ち続けた自分を笑い者にするかもしれない…」

眠れぬ夜を過ごした兵士は最後の日、ついに王女様の部屋の窓の下に立つことをやめてしまいました。

人は、残酷な結末が待っていると思うと、足がすくんでしまうものです。しかし、そこで一步前に出る勇気が人生を変えていきます。ぜひ、足がすくんでいる受験生の背中を押してあげてください。また、こうした逸話や例え話は、あなたの主張を伝えるのに役立ちます。

後悔には2種類あります。「やった後悔」と「やらなかった後悔」です。確かに、受験には合否が付きものです。必死で勉強した生徒ほど、不合格の時には後悔します。「あんなに勉強するんじゃなかった」とさえ思うことがあります。しかし、この後悔は必ず次のチャレンジに対するモチベーションに昇華させることができます。全力で取り組まなかった生徒は、不合格の時にあまり後悔しません。言葉は不適切ですが、どこかヘラヘラしています。「真面目にやっていたら合格できたんだけどね」と自分に言い訳しています。しかし、彼は10年後、20年後…一生後悔し続けることでしょう。「あの時、もっと勉強しておけば良かった」と。そんな取り返しのつかない後悔を、大切な塾生に背負わせたくはないものです。

同じことが「あなた」にも言えます。以前もお話しましたが、誰もが「やればできる自分」でいたいものです。やればできる自分で居続ける条件はただ一つ…何もやらないことです。それでは何の変化も前進もできません。これからの一年、「そこまでやるか」というくらい塾経営に徹底してください。何の分野でもそうですが、突破口はそうしたエネルギーの爆発によって開かれるものであり、けっして天から降ってくるものではありません。あなたの健闘を期待します。

■30万問の類題からRT作成

明光ネットワークジャパンの明光義塾は、全国最大手の個別指導塾であり、直営とFCで2000教室以上、生徒数約15万人を擁していますが、その運営システムと指導形態は意外なほどシンプルです。

「90分の指導時間の中で、テキストの問題を解き○×をつけ、特に重要な問題については解きなおす。宿題とした問題は繰り返し解くように指示する。次の授業では前回の学習内容の定着を確認するための理解度テスト（通称RT）を行い、ここで解けなかった問題はバーコードで読み取ってデータベース化される・・・」

これが直営とFC教室で日常的に行われる「授業」の流れです。

この「データベース化された問題」は、明光義塾の類題蓄積30万問以上として、生徒たちの確認テストに活用されます。データベース化することで、各生徒に応じた個別の確認テストの作成が容易となり、かつ確認テストで繰り返し解くことで弱点を克服していくことが可能になるようです。

全国の個別指導専門塾や大手塾の個別指導部門を調べていくと、ある特殊な事柄に気付かされます。「個別指導って指導の特色があまりないんだな・・・」と。

集団指導と違って個性的な講師が情熱的な授業で生徒たちを掌握して、カリスマ的な指導で生徒たちをわかったつもりにさせることは、個別指導のアルバイト講師には無理な話です。そうした差別化の難しい個別指導において、明光義塾のように「30万問の類題から作成する確認テスト」の活用は、指導の効果を高めるにも個別指導をPRする上にも有効なのだと思います。言い換えれば、「できない生徒たちから活用できるデータベース化をする」こととも言えます。

■講師の適性は実地研修で試す？

今回多くの明光FCのHPやブログなどにより確認しましたが、学生や主婦、社会人などのアルバイト講師については、「原則三日間の新人研修を行ってから実際の授業に入る」とされているようですが、一部の明光FCではいきなり授業に入った講師がいるとのこと。講師の適性が実地研修として試されていると言い換えることができるかもしれません。これは直営ではありえないことなのでしょうが、学生講師が豊富で質も高い都市部と学生自体が少ない地方では事情もかなり異なるものと思われます。

集団指導の場合は、ベテラン講師の授業を見学したり、模擬授業において直接アドバイスを受けたりとすることができそうですが、個別指導では同じような具合にはいきません。ベテラン講師といっても個別指導の学生講師は4~5年が限界であり、自分の指導を見られることを嫌がる人も多いと思われます。

このような状況で、明光FCの中には、独自に学生講師のモチベーションを高めるためのインセンティブ（指導手当や指導資格など）を設けたり、指導実績で表彰したり報奨金を与えるイベントを催したりするところもあると聞きます。

仕組みを成熟させていくだけではなく、こうした「人の意識を刺激してモチベーションを高める手法」も個別指導塾を運営する上ではとても有効なのだと思います。

脇役の研究 第一回 「ロバート・デュバル」



元大リーガー、田口壮(たぐち・そう)さんの著作「脇役力(ワキヂカラ)」には、単身日本から米国にわたり、3Aから独力で大リーグに上がり、当時の監督トニー・ラルーサの元で「アメリカの野球」を学びつつ、実績を重ねた経緯が書かれています。「俺がオレが・・・」の主役ではなく、分をわきまえた「脇役」をこなすことによって、監督やチームの皆からの信頼、そしてファンの熱い声援を受けるようになる彼の地道な努力が淡々と綴られているのです。これを読むと、我々の周囲の様々なことについて、主役と脇役の違い、特に脇役力の大切さがわかってきます。これから主として、映画界における脇役たちに焦点を当てて、その脇役力について考察してみたいと思います。

■どこか陰りのある役柄

第一回は「ロバート・デュバル」です。彼の代表作は、1983年の『地獄の黙示録』だと誰もが認めるところですが、ほかにも彼の「いぶし銀の演技」が異彩を放つ脇役力の際立つ作品が沢山あります。アカデミー賞主演男優賞ノミネートの『パパ』『The Apostle』や主演男優賞を受賞した『テンダー・マーシー』よりも、助演男優賞ノミネートの『地獄の黙示録』のほうが我々にインパクトを与えているのは、作品自体のテーマが「ベトナム戦争」というものだからなのかもしれません。

彼の存在感と多彩な能力が大きく評価されたのは、自ら初の製作も務めたカントリー歌手の破天荒な生活を描いた『クレイジー・ハート』における音楽性の高さについてでした。劇中では全体の演出と自分の演技に集中するため、実際の歌唱はありませんでしたが、サウンドトラックには参加して見事な歌唱力を披露しています。すでに『テンダー・マーシー』でその歌唱力は高く評価されており、映画の中の音楽については並々ならぬ思い入れを持っていることがよくわかります。

1984年の『ナチュラル』では、ちょっとアブナイ感じのあるスポーツ記者を演じていますが、華やかな印象が目立つロバート・レッドフォードとは対照的に映画全体に陰りのある印象を与えています。悪役まではいかなくても、画面に登場するだけで陰りを放つ演技には感心させられます。彼を脇役に使った監督の狙いは見事に的中しているわけです。

1994年の『ザ・ペーパー』では、ニューヨークのタブロイド紙に務める記者たちの激烈な一日が軽快かつコミカルに描かれていますが、ここでもデュバルは前立腺ガンに侵された新聞社の編集長を渋く演じています。映画のストーリーには一見何も影響を与えないような彼の役柄・・・しかし、流石は『ダビンチコード』『天使と悪魔』のロン・ハワード監督です。人間の不幸と幸福の狭間、社会生活におけるモザイク模様のような生き様の違いが、デュバルを通してよく表わされているのです。また、ちょっとだけエクボの出る笑顔が特徴になっており、陰りのある役柄でも、それほど落ち込まないで笑顔を見せる、それが人間の生き方における「希望」なのだということをジワリと教えてくれるのです。

■生涯現役

主役を演じる強烈な個性を持っているのに、それを内に秘めて、渋い演技で作品全体の印象に影響を与える・・・そのような脇役の存在に大きな魅力を感じたデュバルは、アカデミー主演男優賞を受賞している俳優とは思えぬほど、沢山の映画で脇役を演じて、主役を引き立たせるだけでなく、作品に側面的な「光沢」を与えることで、息の長い役者人生を続けてきました。

蛇足ですが、81歳の現在まで彼は四度結婚しており、現在の妻は41歳年下のアルゼンチン人女優です。こちらも生涯現役と言って構わないのかもしれません。